学校番号	1202

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・色彩の学習では白、黒、3 原色の 5 色だけを用いて 12 色相環やトーン表を作成していきます。実際に自分で混色し、色づくりをしていきますので、体験的に色について理解できるようになります。
・「絵画」「彫刻立体」「デザイン」「版画」「金属工芸」など幅広い美術の表現分野について基礎的な学習します。それぞれの分野の基礎的な技法を習得しつつ、自分らしい自由な発想も大事にしていきます。
・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有することなど「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

・美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化ついての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 完成レポート 鑑賞活動やグループワークでの発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 ・オリエンテーション ・「言葉で伝える」 窓からの風景を見て感じることを言葉で伝える。 ・「私の NO.1」 教科書から自分の選ぶ NO.1 作品を選び、紹介しよう。多様な表現形式について知り、「美術Ⅰ」の学習イメージをつかむ。	○ ○ ○			○ ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習や制作に意欲を高めている。 d:日常の風景や美術作品などのよさと美しさを感じ取り、他者に伝えることができている。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート
	外枠をいかして	【絵画】 ・鉛筆で描く 画用紙に描かれた外枠をいかしてイメージ豊かに表現する。	○	○	○		a:多様な表現に興味を持ち、形体いや構成など自分の世界を追求しようといている。 b:イメージ豊かに発想し、モチーフ選びや構成など独創的、創造的な表現をしている。 c:鉛筆の特性を生かして、濃淡など工夫して表現している。	・出席状況 ・活動の様子 ・提出作品
	色彩の基礎	【デザイン】 ・3原色で12色相環をつくる ・白、黒、3原色を混色しトーン表をつくる。	○ ○		○ ○		a:色彩について理解を深め、今後の制作に役立てていこうとしている。 c:計画的に混色し、アクリル絵の具の特性を生かし、ムラなく美しく着色できている。	・出席状況 ・活動の様子 ・提出作品
	【応用】私の春・夏・秋・冬	【デザイン】【鑑賞】 ・画面分割を考える 簡単な形をデザインし、型紙シートを作成、画用紙に画面分割する。 ・色彩計画 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 四季それぞれのイメージに合うようにトーンと配色を考え、色彩表現する。 ・完成レポート	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	a:四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や配色の効果を考え、色彩計画を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、条件や色彩計画を基に、ムラなく美しく着色している。 d:自分の作品について表現の工夫や伝えたいことを整理し、他者に伝えようとしている。自分の作品について理解を深めている。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート

2学期	日本の文化・アニメーション	【鑑賞】 ・「頭山」を鑑賞する ・アニメーション、漫画、絵巻物について、表現の特徴について考える。	○ ○			○ ○	a：日本の伝統的な美術の表現の特質や様式に関心を持ち、現代の美術文化との関連について理解しようとしている。 d：日本の美術の表現の特質や様式、表現方法について理解を深めている。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・発言の内容
	カメレオンピーマン	【彫刻立体】【絵画】 【映像メディア表現】【鑑賞】 ・造形 「本物そっくり」 石粉粘土でピーマンを本物そっくりにつくる。 ・アイデアスケッチ 自分のすきな風景や模様、モチーフから着色計画を立てる。 ・着色 鉛筆で直接下描き後、アクリル絵の具で着色する。 ・撮影 作品を好きなところにおいてデジタルカメラで撮影する。 ・完成レポート ・鑑賞 互いの作品を紹介し、他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a：表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的、積極的に取り組もうとしている。 b：自分らしい表現は何かを考え、アイデアが練られている。配色や彩色方法について自分らしい表現の構想を追求している。カメラの視覚効果を考え、創造的な構想が練られている。 c：モチーフをよく観察し、造形できている。粘土やアクリル絵の具、用具、機材の特性を生かし、表現方法を工夫し表現している。 カメラの扱い方や表現効果を理解し、活用できている。 d：自分の作品について理解を深めることができる。他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・完成レポート

3学期	鋳型を使ったアクセサリー制作	【デザイン】 【金属工芸】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 条件をふまえデザインを考える。 ・ペーパー鋳型制作 条件をふまえ鋳型を制作する。 ・整形、磨き ニッパー、紙やすり等を使い、磨く。 ・刻印、パーツつけ メッセージを刻印し、用途に応じたパーツをつける。 ・完成レポート	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○	○	a:使う人を想定し、条件や用途などを考え、デザインすることに関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 b:使う人をイメージし、その人らしさや目的にあう美しさを考えたデザインになっている。素材と技法のデザイン上の制約をふまえながら、自分らしい表現が追求できる。 c:材料の特性と用具の使い方を理解した合理的な制作となっている。 d:自分の制作意図や表現の工夫、よさについて理解を深め、他者に説明できる。他者の作品のよさ、工夫されているところなどを感じ取ることができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート
	ペーパーバッグ制作	【デザイン】【鑑賞】 「作品を持ち帰るマイバッグをつくろう」 ・消しゴムハンコについて ・アイデアスケッチ デザインを各自で考える。 ・制作 デザインを転写し、ゴム版を作る。 ・ゴム版を押す バッグへの版の押し方や配色を工夫し、より効果的なデザインを追求する。 ・発表と鑑賞	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:目的と自分らしさを追求したデザインであり、ゴム版のもつ表現の制約をふまえた構想になっている。版の押し方や色の組み合わせを工夫し、効果的な表現となっている。 c：材料や用具の特性を理解し、表現のこだわりや意図に応じて、合理的に制作がすすめられている。 d:自分の作品について表現のこだわりを明確にし、他者に伝えられる。他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取っている。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・提出作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。